指標

「保険医療医師研修懇談会」について

副会長　長 瀬　清

平成14年６月28日帯広市において、帯広市医師会会員を対象に「第１回保険医療医師研修懇談会」が開催された。これは、北海道医師会医療保険部の本年度からの新規取り組みの事業であり、文字通り第１回目の研修会であった。医師に対するこのような研修は、保険医資格取得時および開業時指定時講習会として行われている。

本誌997号（平成14年６月16日号）に三宅直樹常任理事が「平成14年度の指導について」を書いている。これは保険医療が適正に行われるよう北海道社会保険事務局が毎年行うものを中心に、本年度の指導の予定について記したものである。大方の会員の先生方は適正な保険医療をされているが、中には療養担当規則や診療上の約束事を十分に理解せず、無意識に違反を犯したり、ごく少数には故意に違反する場合も見られることがある。レセプトその他に不自然さがあり、保険者、審査支払機関、行政より指摘を受けることもあるが、匿名、実名で情報提供がなされ、特に最近は実名で関係者から情報が寄せられることも多い。このようなケースが目立ってきていることから、道医として会員の先生方と話し合い、医療保険制度の在り方について理解を深めて頂きたいとの考えから、今回の研修会が企画された。会場には約40名の先生方が参集され、関心の深さがうかがわれた。会を催すに当たって帯広市医師会の役員の先生方のご尽力に感謝申し上げたい。

会は三宅直樹北海道医師会常任理事・医療保険部長の司会で始まった。

冒頭、北海道医師会を代表して私から、指導・監査の現況と今回の研修会開催の趣旨を説明、次いで開催医師会の森末克彦帯広市医師会会長からの挨拶があり、研修会に入った。

１．「保険診療上のルールと保険指導・監査について」三宅常任理事

集団的個別指導と個別指導の実施要領についての説明の後、平成８年度より13年度までの実際の指導状況について、次いで、保険医療機関と保険医の処分状況について具体例を示し解説を加えた。

２．保険審査上の留意事項について

１）審査機関の仕組みとレセプト審査の実際（内科系）長瀬副会長

支払基金および国保連合会の審査委員会の構成および審査委員数。審査における審査委員間、全国およびブロック（東北・北海道）の支部間、基金と国保連合会間の差異をなくするための方策について、次いで再審査事例での審査上の問題点について解説を行った。

２）レセプト審査の実際（外科系）今井利賢常任理事

はじめに一般的審査の実際についての問題点を指摘。当月限りの１枚のレセプトから患者の状況を把握して審査しなければならない審査上の制限から漏れなく請求するためのレセプト作製上の注意事項等病院が損をしないようにするための注意を詳細にわたって述べた。

質疑では、一審と再審査の扱いについて、健康診断から保険診療への切り替えについての質問があった。また、今回の診療報酬改定に関する日医の対処の仕方に大いに疑問があるとの発言があった。

この会は本年度３回を計画している。次回は８月10日函館の予定である。